







未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう

「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」「HTT」CO₂排出実質ゼロの未来へ

▶ CO₂排出実質ゼロの未来 「カーボンニュートラル」

わたしたちの生活を維持するために日々排出される温室効果ガス。そのおよそ $\frac{3}{4}$ を占めるのが CO₂ (二酸化炭素) です。今、世界では、120 か国以上もの国と地域が 2050 年までに CO₂ の排出を全体として実質ゼロにするという共通の目標「カーボンニュートラル」に向かって取り組んでいます。

各国の温室効果ガス削減目標 (2030 年)

 アメリカ 50~52%削減 (2005年比)	 イギリス 78%削減※2035年目標 (1990年比)
 ヨーロッパ連合 55%以上削減 (1990年比)	 中国 GDP 当たりCO ₂ 排出量を 65%以上削減(2005年比)
 ドイツ 65%削減 (1990年比)	 日本 46%削減(2013年比) (さらに、50%の高みに向け 挑戦を続けていく)

(2022 年 1 月末現在)

引用：東京都環境局 2030 年カーボンハーフに向けた取組の加速 デジタルブック
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/policy_others/zeroemission_tokyo/zeroemission2021.html

▶ CO₂ 実質ゼロについて、 まとめてみましょう

CO₂ 実質ゼロとは、温室効果ガスの排出量と森林管理などによる吸収量が均衡されることを意味します。温室効果ガスはどんな場面で排出され、森林管理などによる吸収量とは何を示しているのか、まとめてみましょう。



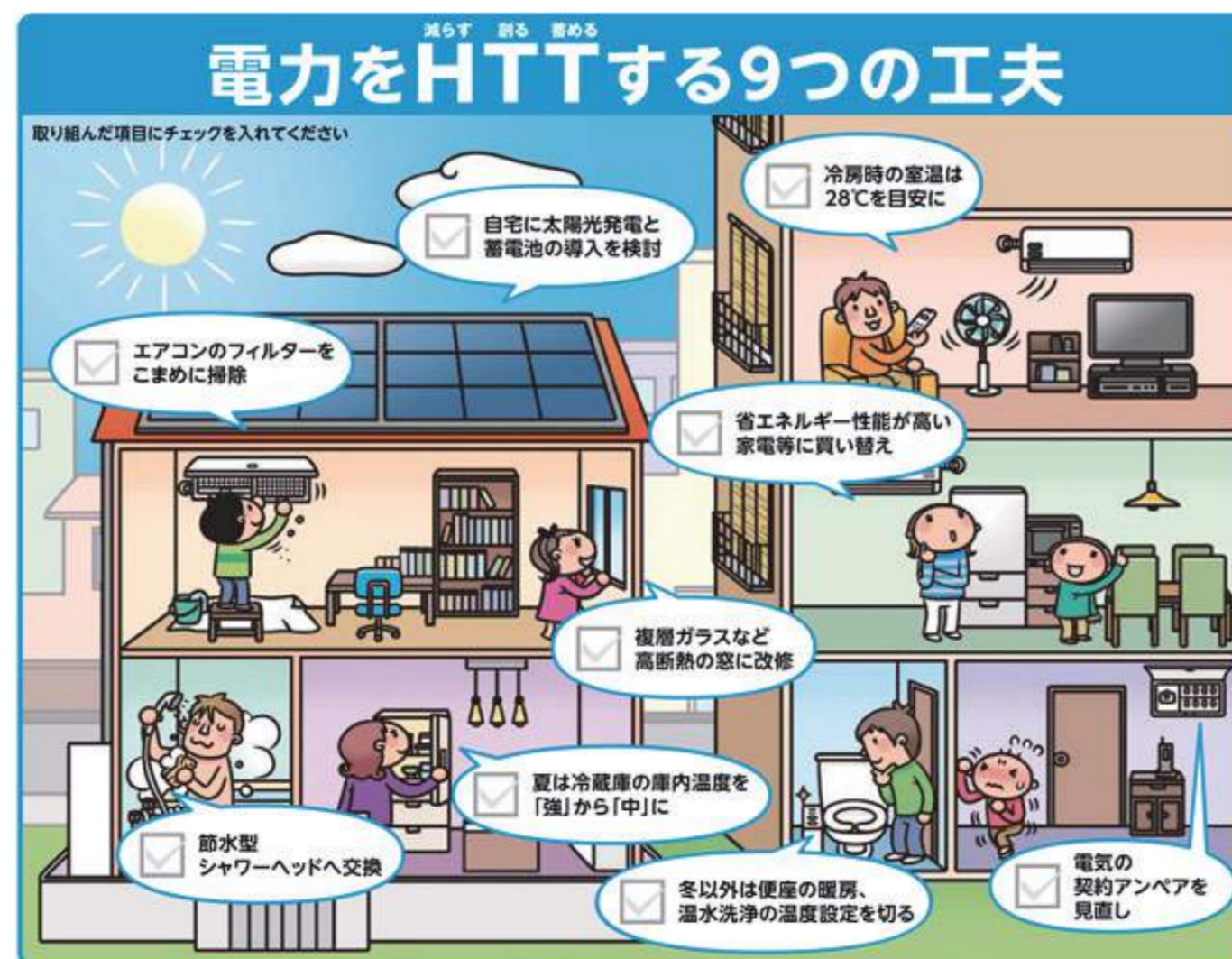
▶ 東京都の取組「HTT」 電力を...



火力発電は多くの CO₂ を排出します。そのため、再生可能エネルギーの利用が求められていますが、今はまだわたしたちの生活に必要な電気を再生可能エネルギーだけでまかなうことは難しく、生活に必要な電気の多くを火力発電に頼っています。

そこで、東京都は、気候危機だけでなく、中長期的にエネルギーの安定確保につながる観点から、電気を「H 減らす」「T 創る」「T 蓄める」「HTT」を呼び掛けています。「HTT」への積極的な取り組みや協力が、発電に伴う CO₂ の排出を減らすことにもつながります。

「HTT」や「Tokyo Cool Home」について調べてみましょう。



**「この夏はみんなで
HTT にチャレンジ！」**

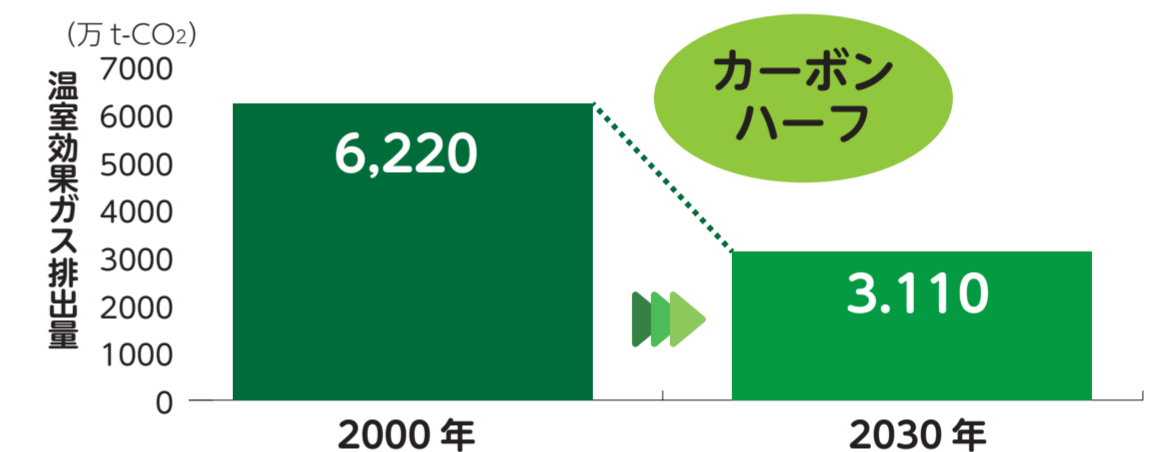
【広報東京都こども版 5 月号】
▼クリック
<https://www.kodomo.metro.tokyo.lg.jp/report/05/>

Tokyo Cool Home & Biz

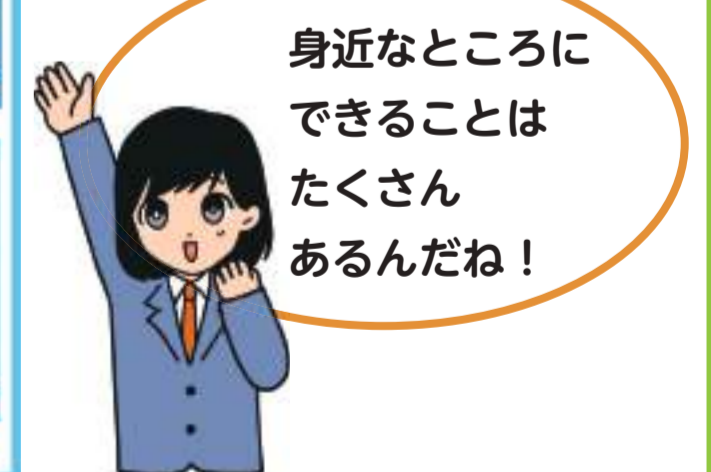
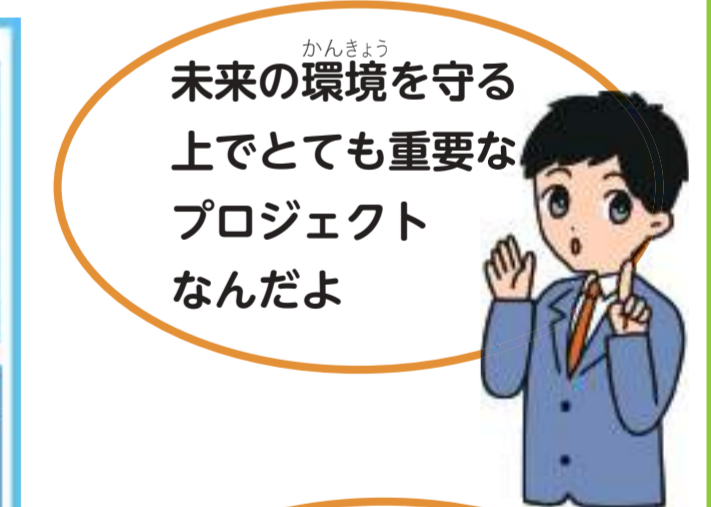
▼クリック
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/tokyo_coolhome_coolbiz/index.html

▶ 東京都の取組「カーボンハーフ」とは？

「カーボンニュートラル」という目標達成のためには 2030 年までの行動が極めて重要とされており、東京都は 2030 年までに温室効果ガス排出量を 50%削減 (2000 年比) する「カーボンハーフ」を表明しました。未来の環境を守るための待ったなしのプロジェクトが始まっています。



▶ 自分たちに今できること、 将来できることを考えよう



【東京動画 環境の動画一覧】
【東京都環境局】 ▼クリック
<https://tokyodouga.jp/town/about-environment>

環境について YouTube にも動画を掲載しています！

「カーボンハーフスタイルチャレンジ」
【東京都教育庁】 ▼クリック
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/environment/carbonhalfstyle_challenge.html